

滝上の人

〜一つひとつ夢を叶えて〜

今回は、滝西 佐々木 涉さんにスポットをあてていきます。

佐々木さんは昭和40年兵庫県西宮市生まれの54才。3人兄弟の1番目で、父親の仕事は公務員でした。小学校までは、父親の転勤のため、関西圏で何回か引越しを経験しました。



昨年開催した和ハッカ体験ツアーで蒸留の説明をする佐々木さん（右）

現在につながる人生の転機となったのは、高校生の時に読んだ徳村彰氏の著書に、深い感銘を受け、当時、横浜市で書店「ひまわり文庫」を営んでいた徳村氏の所で、数週間滞在して寝食を共にしたことです。

昭和58年、徳村氏は北海道滝上町に移り住み「森の子供の村」を開設。佐々木さんも共に行動をすることを決め、滝上にやってきました。

滝上に来た頃について教えてください。

滝上に来てからは、まずは仕事を探すことからのスタートでした。最初は農家の手伝いから始まり、一度、民間の企業に就職しました。その後、滝上町農業技術開発センターの臨時職員に採用され、本格的に農業に関わる事になりました。

読書が好きなのもあり町の図書館で、アスパラガスのハウス栽培に関する農業書と出会いました。

この栽培方法に可能性を感じて、農業で身を立てることを決意しました。実際の栽培の方法を視察するため、佐賀県にある農場を訪れ、現地で学んだりと準備を重ね、平成10年に就農しました。

現在の活動については？

二区にある農地で、アスパラガスのハウス栽培で農業をスタートしました。滝上では初めてのチャレンジであり、栽培には試行錯誤が続いて、生産が軌道に乗るまでに数年かかりました。現在では、滝上産のアスパラは、全国のお

客さんから引き合いがあり、各地に発送しています。

このほか、同じ畑作農家で、懇意にしていた、札久留の佐藤吉丸氏（当時）から和ハッカの栽培を学び、アスパラと並行して栽培を開始しました。滝上の希少な和ハッカを栽培から製油して、そして商品化しようと、滝上町商工会の支援事業を受け、栽培農家の藤村利史さん、瀬川博さん達と（株）和ハッカ・ラボを設立。平成29年にミントスプレー「SUIT COOL」を商品化しました。

商品の特徴は、和ハッカに含まれるメントール成分により清涼感のある使い心地が、虫除けのアイテムとして、キャンプやフィッシングなどのアウトドアで好評をいただいています。

また、最近では（株）セコマ（札幌市）が昨年、滝上産の和ハッカを使用したチョコミントアイスバーを、今年はミントハイボールを商品化して、多くの反響をいただいています。

これら商品が店舗に並び、滝上産の和ハッカが一躍知ら

れることになり、生産者としてうれしく思っています。

畑作のほか七面鳥の生産も行っており、七面鳥生産組合の会長であった三島鉄男氏（二区）から七面鳥の生産活動を託され、平成20年から生産を行っています。七面鳥の燻製は、毎年クリスマスの時期に家庭の食卓を飾っています。

皆さんにひとことお願いします。

若い頃に縁があり、滝上に移り住み早37年が過ぎました。これまで多くの人に支えられ、ありがたく思っています。農業も様々な経験を積み重ねながら、現在に至っています。今後も地域貢献できるよう、頑張っていきたいと思っています。



七面鳥燻製加工の様子